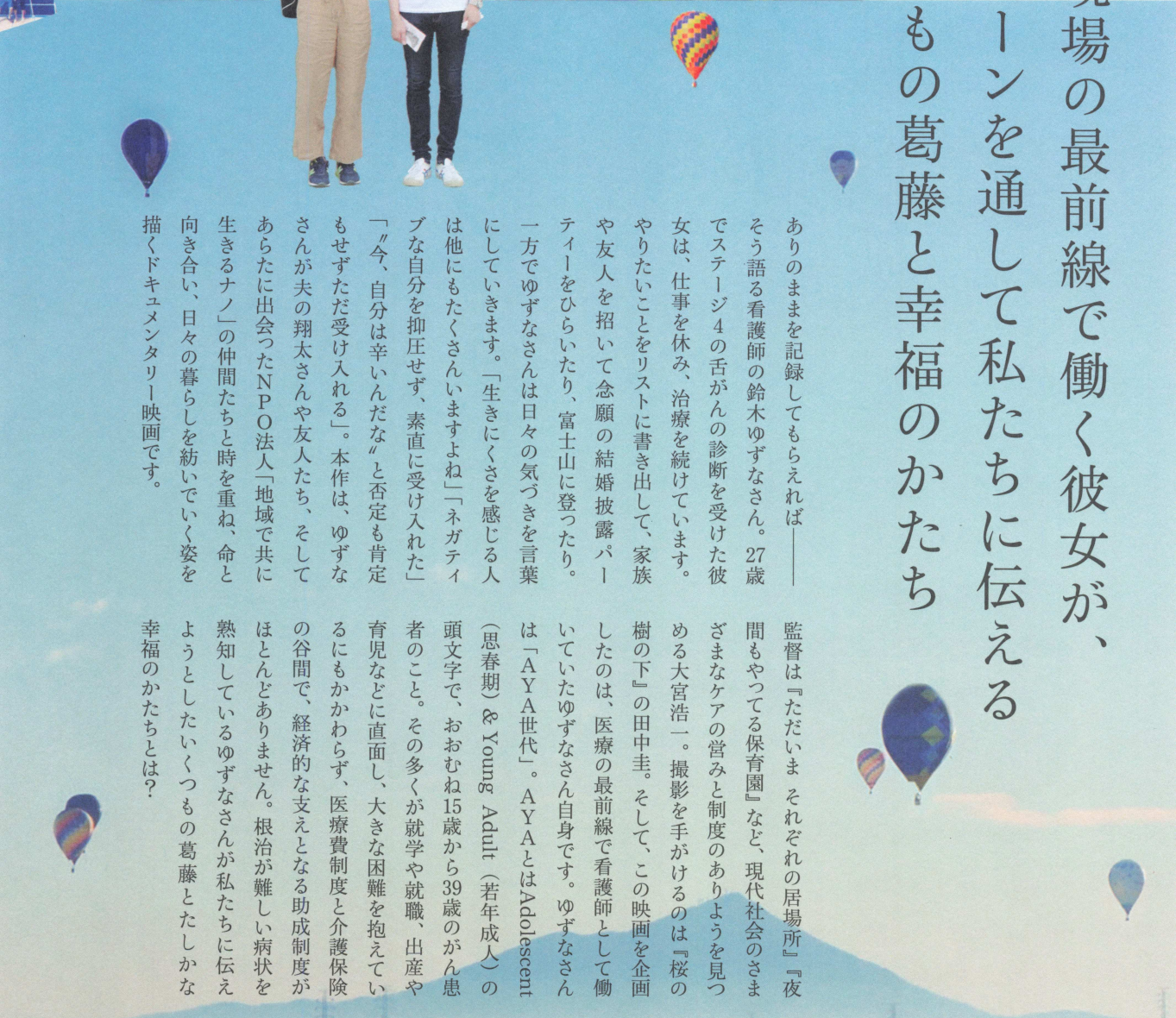


医療現場の最前線で働く彼女が、スクリーンを通して私たちに伝えるいくつもの葛藤と幸福のかたち

ありのままを記録してもらえれば――

そう語る看護師の鈴木ゆずなさん。27歳でステージ4の舌がんの診断を受けた彼女は、仕事を休み、治療を続けています。やりたいことをリストに書き出して、家族や友人を招いて念願の結婚披露パーティーをひらいたり、富士山に登ったり。一方でゆずなさんは日々の気づきを言葉にしていきます。「生きにくさを感じる人は他にもたくさんいますよね」「ネガティブな自分を抑圧せず、素直に受け入れた」「今、自分は辛いんだな」と否定も肯定もせずただ受け入れる。本作は、ゆずなさんが夫の翔太さんや友人たち、そしてあらたに出会ったNPO法人「地域で共に生きるナノ」の仲間たちと時を重ね、命と向き合い、日々の暮らしを紡いでいく姿を描くドキュメンタリー映画です。

監督は「ただいまそれぞれの居場所」「夜間もやつてる保育園」など、現代社会のさまざまなケアの営みと制度のありようを見つめる大宮浩一。撮影を手がけるのは『桜の樹の下』の田中圭。そして、この映画を企画したのは、医療の最前線で看護師として働いていたゆずなさん自身です。ゆずなさんは「A Y A世代」。A Y AとはAdolescent（思春期）& Young Adult（若年成人）の頭文字で、おおむね15歳から39歳のがん患者のこと。その多くが就学や就職、出産や育児などに直面し、大きな困難を抱えているにもかかわらず、医療費制度と介護保険の谷間で、経済的な支えとなる助成制度がほとんどありません。根治が難しい病状を熟知しているゆずなさんが私たちに伝えようとしたいくつもの葛藤とたしかかな幸福のかたちとは？



4月上旬公開

全国共通特別鑑賞券1,300円(税込)



ポレポレ東中野

03 3371 0088 pole2.co.jp

JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
都営大江戸線A1出口より徒歩1分



紡いで ケアを

答えのない大切な時間——
ありのままを、ともに生きる



鈴木ゆずな 鈴木翔太

西川彩花 沼里春花 野村将和 谷口真知子 「地域で共に生きるナノ」の皆さん

監督:大宮浩一 企画:鈴木ゆずな 制作:片野仁志 大宮浩一 撮影:田中圭 編集:遠山慎二

整音:石垣哲 エンディング曲:「HOME」古見健二 配給:東風 製作:大宮映像製作所

2022年/89分/日本/ドキュメンタリー ©大宮映像製作所

care-tsumuide.com

27歳でがんを患った看護師のゆずなさん。これは、彼女から託された、日々の記録。